

# 令和元年度第5回北名古屋市行政改革推進委員会 会議録

## ○ 会議概要

### 1 あいさつ

部長あいさつ

### 2 議題

<事務局>

#### 【資料1 第2期北名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）についての説明】

<岩崎会長>

事務局から「第2期北名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」についての説明を受けた。パブリックコメントについて意見がなかったこと、国や県の方針に変更がなかったことから、前回の（素案）とほぼ変更なしで、最終の（案）として我々にお示しいただいたところである。

このことについて、委員の皆さんのご意見やご質問を伺いたい。

<委員A>

先日、記者発表された、高校生まで医療費が無償化されることについて、計画（案）にとくに掲載がないが、そのことについてどのような対応を検討されているか。子育て支援については、乳幼児の給食費の無料化もあり、財源について非常に心配である。

<事務局>

高校卒業まで医療費補助を拡大することについては、3月議会で上程予定であると聞き及んでいるが、昨年11月のパブコメ募集時にもその件について掲載しておらず、切れ間なく計画を策定するためには2月に答申をいただく必要がある。新たな制度の開始や廃止については、計画策定の時期では未確定なものもあり、計画への掲載は見送らせていただいた。

<岩崎会長>

乳幼児の給食費の無料化の件など、国から方針が示されたものについては、財源が伴っていないものが多く、市町村は非常に苦しい対応が迫られている。計画を策定していく過程でタイムラグはどうしても生じてしまうため、計画に盛り込めない点はあることは理解できる。

<委員B>

国からの指示で始まった制度は、国の財源支援が途中で打ち切られることが多々ある。

企業誘致などから見込まれる財源ではとても補いきれない支出が想定されるため、現在実施している事業を廃止していかなければやっていけないのではないかと。

<岩崎会長>

そういったことが来年度以降の行政改革推進委員会の検討項目になるかもしれない。

総合戦略について、他にご意見はどうか。無ければ、委員会として、この内容をもって計画最終案とすることを了承することとするがよろしいか。

(異議なし)

では、次の議題を事務局お願いします。

<事務局>

### 【資料2 答申書(案)についての説明】

<岩崎会長>

事務局から答申書(案)について、説明を受けた。今計画は、第1期の振り返りから第2期の策定方針やKPIの見直しなど委員会の意見を反映させながら策定してきたものであった。そのため、答申書はそのような文面となっているとのことであったが、答申書(案)について、皆さんのご質問、ご意見を伺いたい。

(質問、意見なし)

無いようなので、本日晒された答申書(案)につきましてはご承認いただいたということで、本委員会として、第2期北名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)についての答申書を提出したい。

委員の皆様におかれましては、資料2の答申書(案)の(案)の部分をお消しいただき、答申書の写し扱いとしてお控えいただきたい。

## 3 答申

<事務局>

昨年6月の第1回行政改革推進委員会におきまして、市長より「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について」の内容にて諮問をさせていただいた。それ以降、今回を含め計5回の委員会により、現行の総合戦略の成果と課題の検証、施策の内容の見直し、総合計画との整合や、重要業績評価指標であるKPIの統一化を図ってきた。本日、素案に対するパブリックコメントの実施を経たうえで、KPIの適切な検証と、新たな地方創生策への柔軟な対応、という2つの付帯意見を盛り込むことをもって、今回の計画案を妥当なものである、とお認めいただき、この度、答申書として取りまとめいただいた。

この答申書を、岩崎会長より市長に対し、お渡しいただくこともって、答申とするので、皆様よろしくお願ひしたい。

<岩崎会長>

第2期北名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたっては、現行の総合戦略の成果と課題を検証したうえで、人口の動向や社会経済情勢の変化を踏まえて施策の内容を見直すとともに、市の最上位計画である第2期北名古屋市総合計画との整合を図るため、必要に応じ重要業績評価指標（KPI）の統一化が図られている。

また、本委員会において委員が指摘した意見についても幅広く反映されていることに加え、素案についてパブリックコメントを実施したものであることから、本案を妥当なものとする。

なお、今後に関する委員会からの意見として、次のとおり付記するので、計画の着実な実行を要望する。

1 KPI について

KPI の定期的な進捗管理を実施するとともに、指標や目標値について社会情勢の変化や事業の妥当性の観点から、今後も適切に検証すること。

2 新たな地方創生施策について

国や愛知県の第2期総合戦略を勘案するとともに、Society5.0 やSDGs などの新たな概念による施策についても適宜柔軟に対応すること。

(答申書手交)

<市長>

従前より、この委員会において行財政改革及び地方創生に関する施策について、貴重なご意見を頂戴しておりますことに、感謝申し上げます。昨年6月にお願ひいたしました「第2期北名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定についての諮問に対し、委員の皆さまから貴重なご意見を頂き、計画書を作り上げていった結果、本日このような形で答申を頂いたことにつきまして、改めて感謝を申し上げます。今回、答申頂いた計画に基づき、北名古屋らしい地方創生を進め、「住み続けたいまち」として選ばれるよう、努力してまいりますので、今後も委員の皆様からの貴重なお力添えをお願ひしたい。

<岩崎会長>

今回、この答申書の提出をもって、今年度の行政改革推進委員会の諮問に対する業務は完了した。議題及び答申については以上となる。

続いて、その他について事務局より説明をお願ひする。

#### 4 その他

<事務局>

答申いただきありがとうございました。来年度は市の事務事業整理について意見をいただくことについて、複数回委員会の開催を予定しているが、現在どのような内容にするか検討中である。詳細が決まり次第、委員皆様にご報告させていただくため、今後ともお願いしたい。

<岩崎会長>

意見も出尽くしたようなので、これにて委員会を閉会とする

【閉会】

配布資料	資料1 第2期北名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案） 資料2 答申書（案） 参考資料 北名古屋市人口ビジョン（案）
------	---